

4 履修案内
2-3 副専攻

(2010 から 2013 年度入学者に適用)

副専攻について

(2010から2013年度入学者に適用)

●副専攻とは

みなさんは、自らの所属する学科の科目を主専攻として学んでいます。そのほかに、特定のテーマに沿って体系的にまとめられた科目を副専攻として学ぶことができます。

本学のほとんどの学部・学科では、他学部や他学科で開講されている科目の履修を認め、単位を修得した場合には、その一部（又は全部）を卒業要件単位として算入できる仕組みになっています。副専攻制度はこの仕組みを利用し、在学中に広い視野と多面的な能力を培う機会を提供するものです。

副専攻には、ある学部（学科）がすべての科目を提供する副専攻（単独型）と、複数の学科が科目を提供し学科横断的に実施される副専攻（横断型）の二種類があります。横断型の場合、履修する科目の中に自学科の開講科目が含まれることもあります。

副専攻において修得した他学部・他学科科目の単位は、自らの所属する学科の教育課程表に定める単位の取扱いに従います。

●副専攻を履修するには

つぎに副専攻の登録方法と履修の方法について説明します。各副専攻の開講科目や定員、履修条件などについては後述の『副専攻一覧』を参照してください。

- (1) 副専攻は原則として全学の学生に向けて開設されていますが、特定の学部・学科の学生を対象とする副専攻もあります。なお、副専攻の登録は一人につき一副専攻に限ります。複数の副専攻を登録することはできません。
- (2) 副専攻の本登録は2年次前期に行います。
- (3) 副専攻履修希望者は、1年次4月のオリエンテーション期間に実施する副専攻ガイダンスに出席してください。なお、副専攻科目の中には1年次から履修できる科目もありますので、副専攻の登録を希望する場合は1年次から計画的に履修しておくことが望ましいです。
- (4) 定員や登録のための前提条件（前年度に一定の単位数を修得していること等の条件）を設定している副専攻については、事前選考を行い、登録者として決定します。
- (5) 副専攻科目の履修登録は、各学部・学科が定める履修上限単位数の範囲内で行います。自学科の科目とのバランスをよく考えて履修登録をしてください。
- (6) 副専攻の各科目では、他学部・他学科の学生に対して履修人数を制限する場合があります。履修登録の際は、担当者の許可を得てください。
- (7) 各副専攻の定める修了要件を満たした場合は、卒業時に副専攻修了証が授与されます。また、修了者の「卒業・学位証明書」及び「学業成績証明書」には、修了した副専攻名が記載されます。
- (8) 基準の単位を満たした場合は、申請により4年次4月以降に副専攻修了見込証明書を取得することができます。
- (9) 修得した副専攻科目の単位は副専攻の修了あるいは未了にかかわらず、所属する学科の教育課程表に定める単位の取扱いに従います。

各学部・学科における他学科履修の単位の取扱いは次のとおりです。

学 部 ・ 学 科		副専攻を構成する他学部・他学科科目を 修得した場合の認定群	認定群の 卒業要件 単位数
法学部	法律学科	自由選択科目	18
	自治行政学科	自由選択科目	18
経済学部	経済学科	自由選択科目	12
	現代ビジネス学科	自由選択科目	10
経営学部	国際経営学科	選択科目	20
外国語学部	英語英文学科	関連科目	20
	スペイン語学科	関連科目	28
	中国語学科 [スタンダードコース] (2010年度入学者)	関連科目	30

外国語学部	中国語学科 [インテグコース] (2010年度入学者)	関連科目	22
	中国語学科 (2011年度以降入学者)	関連科目	24
	国際文化交流学科	関連科目	20
人間科学部	人間科学科	関連科目	20
理学部	数理・物理学科	関連科目	20
	情報科学科	関連科目	20
	化学科	関連科目	20
	生物科学科	関連科目	20
	総合理学プログラム (2011年度以前入学者)	関連科目	30
	総合理学プログラム (2012～2013年度入学者)	関連科目	26
工学部	機械工学科	工学部他学科の科目のみ関連科目	6
	電子情報フロンティア学科	選択科目群（専攻科目）	8
	電気電子情報工学科 (2012～2013年度入学者)	選択科目群（専攻科目）	8
	物質生命化学科	関連科目 (卒業要件単位としては認定されない)	0
	情報システム創成学科 (2012～2013年度入学者)	関連科目	4
	経営工学科 (2012～2013年度入学者)	関連科目	6
	建築学科	関連科目	8
	総合工学プログラム	関連科目	8

●副専攻一覧

副専攻名称	開設の中心となる学部・学科等	募集対象学部・学科	定員	*履修開始学年
法律学	法学部	法学部を除く全学部	20	1年次
国際協力	法学部・経済学部・外国語学部 ・人間科学部	全学部	20	1年次
英語コミュニケーション特修	外国語学部国際文化交流学科	外国語学部 [※] イ語学科		1年次
地方自治	法学部	法学部を除く全学部	20	1年次
日本語・日本研究	共通教養教育センター・法学部 ・経済学部・外国語学部国際 文化交流学科・人間科学部	外国語学部国際文化交流 学科を除く全学部全学科	20	1年次
マネジメント	経営学部	経営学部を除く全学部		1年次
国際交流	経営学部	経営学部を除く全学部		1年次
自然・環境	理学部	理学部を除く全学部		1年次

*「履修開始学年」は副専攻登録開始年ではなく、副専攻の一部の科目が1年次配当科目であることを示しています。
2年次で副専攻の登録を予定している場合は、1年次のうちから十分に注意して計画的に履修してください。

●副専攻修了見込証明書発行基準

副専攻名称	修了要件 単位数	副専攻修了見込証明書 発行基準単位数	
		4月1日現在	10月1日現在
法律学	20	14以上	16以上
国際協力	22 (※1)	16以上	18以上
英語コミュニケーション特修	22	16以上	18以上
地方自治	20	14以上	16以上
日本語・日本研究	22	16以上	18以上
マネジメント	20	14以上	16以上
国際交流	20	14以上	16以上
自然・環境	20	14以上	16以上

(※1) 第1群から14単位以上, 第2群から8単位以上

副専攻名：法律学副専攻

意義と特色

本専攻は、公務員試験、資格試験、法科大学院進学等の理由から、法律学を専門的に学びたいという他学部生のニーズに対応するものである。

学問的体系性を考慮して、法律基本科目（憲法・民法・刑法）を中心に科目を設定していることが特色である。

募集対象学部・学科

法学部を除く全学部

募集定員

20名

修了要件単位数

20単位

設定科目一覧

科目名	科目提供学部・学科	配当年次	単位数
憲法Ⅰ	法学部・法律学科	1	2
憲法Ⅱ	法学部・法律学科	1	2
憲法Ⅲ	法学部・法律学科	2	2
憲法Ⅳ	法学部・法律学科	2	2
民法序説	法学部・法律学科	1	2
民法Ⅰ	法学部・法律学科	1	2
民法Ⅱ	法学部・法律学科	1	2
民法Ⅲ	法学部・法律学科	2	2
民法Ⅳ	法学部・法律学科	2	2
刑法序説	法学部・法律学科	1	2
刑法Ⅰ	法学部・法律学科	1	2
刑法Ⅱ	法学部・法律学科	1	2
刑法Ⅲ	法学部・法律学科	2	2
刑法Ⅳ	法学部・法律学科	2	2
民事訴訟法Ⅰ	法学部・法律学科	3	2
刑事訴訟法Ⅰ	法学部・法律学科	3	2

副専攻名：国際協力副専攻

意義と特色

グローバル化の進行とともに「国際協力」の必要性が高まっていることはいうまでもない。その結果、単に海外における活動に限らず、日本における外国人移民の流入など、国内における「共生」や「協力」が求められている。また、さまざまな職業において外国人問題と向き合う可能性は増している。

この副専攻ではいわゆる「周辺諸国」、すなわち、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国との「国内」「国外」における国際協力の実践を視点を据え、これらの諸国の政治・経済・社会問題を理解したうえで、「協力」を実践するための基本的知識を修得することを目的としている。

募集対象学部・学科

全学部

募集定員

20名

修了要件単位数

22単位以上（第1群から14単位以上、第2群から8単位以上）

設定科目一覧

〔第1群〕国際協力

科目名	科目提供学部・学科	配当年次	単位数
国際理解論	外国語学部・国際文化交流学科	1～4	2
国際政治学Ⅱ	法学部・法律学科	3	2
国際法Ⅰ	法学部・法律学科	2	2
国際法Ⅱ	法学部・法律学科	2	2
国際法Ⅲ	法学部・法律学科	3	2
国際法Ⅳ	法学部・法律学科	3	2
地域国際協力特論	法学部・自治行政学科	1	2
異文化社会論（アジア）	人間科学部	3	2
異文化間教育学	人間科学部	2	2
ボランティア学習論	人間科学部	2	2
横浜学Ⅱ	人間科学部	3	2

〔第2群〕地域研究

科目名	科目提供学部・学科	配当年次	単位数
国際事情Ⅱ	外国語学部・国際文化交流学科	1～4	2
国際事情Ⅳ	外国語学部・国際文化交流学科	1～4	2
中国政治経済概説 A	外国語学部・中国語学科	1	2
中国政治経済概説 B	外国語学部・中国語学科	1	2
ラテンアメリカ研究Ⅱ－1 （現代研究）	外国語学部・スペイン語学科	3	2
ラテンアメリカ研究Ⅲ－1 （地域事情）	外国語学部・スペイン語学科	3	2
ラテンアメリカ史Ⅰ	外国語学部・スペイン語学科	2	2
ラテンアメリカ史Ⅱ	外国語学部・スペイン語学科	2	2
国際協力研修講座	外国語学部・スペイン語学科	3	2
中国経済論Ⅰ	経済学部・経済学科	2	2
中国経済論Ⅱ	経済学部・経済学科	2	2
中東政治経済論Ⅰ	経済学部・経済学科	3	2
中東政治経済論Ⅱ	経済学部・経済学科	3	2

副専攻名：英語コミュニケーション特修副専攻

意義と特色

スペイン語学科で学んだことを武器に、グローバル社会での活躍を目指すには、時に高い英語の運用スキルが求められる。

英語コミュニケーション特修副専攻では、英語のコミュニケーション能力をいっそう高め、より専門的かつ実践的な英語力を身につけた人材を育成する。そのため、高いモチベーションをもった学生に向けた中級以上の科目を設置している。

募集対象学部・学科

外国語学部スペイン語学科

募集定員

定員は設けない

修了要件単位数

22単位

設定科目一覧

科目名	科目提供学部・学科等	配当年次	単位数
英語表現演習 A I	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語表現演習 A II	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語表現演習 B I	外国語学部・国際文化交流学科	3～4	1
英語表現演習 B II	外国語学部・国際文化交流学科	3～4	1
英語分野演習 A I	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語分野演習 A II	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語分野演習 B I	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語分野演習 B II	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語分野演習 C I	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語分野演習 C II	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語分野演習 D I	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語分野演習 D II	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語日本文化演習 I	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語日本文化演習 II	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語国際文化演習 I	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語国際文化演習 II	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語CALL／LL演習 I	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語CALL／LL演習 II	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	1
英語海外研修	外国語学部・国際文化交流学科	2～4	2
*英語 (O.C.S.) A III	外国語科目	1	2
*英語 (O.C.S.) A IV	外国語科目	1	2
*英語 (O.C.S.) A V	外国語科目	1	2
*英語 (O.C.S.) A VI	外国語科目	1	2
*英語 (O.C.S.) B III	外国語科目	2, 3	2
*英語 (O.C.S.) B IV	外国語科目	2, 3	2
*英語 (O.C.S.) B V	外国語科目	2, 3	2
*英語 (O.C.S.) B VI	外国語科目	2, 3	2
*英語 (O.C.S.) B VII	外国語科目	2, 3	2
英語読解・上級 I	外国語科目	1～4	1
英語読解・上級 II	外国語科目	1～4	1
英語作文・中級 I	外国語科目	1～4	1
英語作文・中級 II	外国語科目	1～4	1
英語作文・上級 I	外国語科目	1～4	1
英語作文・上級 II	外国語科目	1～4	1
英語会話・中級 I	外国語科目	1～4	1
英語会話・中級 II	外国語科目	1～4	1
英語会話・上級 I	外国語科目	1～4	1
英語会話・上級 II	外国語科目	1～4	1
英語リスニング・中級 I	外国語科目	1～4	1
英語リスニング・中級 II	外国語科目	1～4	1
英語リスニング・上級 I	外国語科目	1～4	1
英語リスニング・上級 II	外国語科目	1～4	1
TOEIC演習・中級 I	外国語科目	1～4	1
TOEIC演習・中級 II	外国語科目	1～4	1
TOEIC演習・上級 I	外国語科目	1～4	1
TOEIC演習・上級 II	外国語科目	1～4	1

*英語 (O.C.S.) は英語 (Oral Communication Skills) を示す。

副専攻名：地方自治副専攻

意義と特色

「地方分権」が叫ばれて久しい今日、分権や自治は、すべての国民にとって関心の高いテーマの一つである。この副専攻では、将来、一人の専門的職業人であると同時に、地域に生きる一人の「市民」として、地域の自治の実現に参加し寄与していくために必要な、分権と自治に関する基本的知識とノウハウを提供するものである。

また、法学、政治学、経済学等の各分野にわたり、地方分権や自治に関する基本的な仕組み、関連法制度、わが国のこれまでの取り組みと現在の問題状況及び諸外国の実態等について、多角的に学ぶことができる。特に、元自治体職員や自治体関連の研究組織に長年在籍した実務家出身者の講座が多く、理論だけに拘泥せず、実務の実情を反映した実践的な内容となっているのが特徴である。

募集対象学部・学科

法学部を除く全学部

募集定員

20名

修了要件単位数

20単位

設定科目一覧

科目名	科目提供学部・学科	配当年次	単位数
行政実務特論	法学部・自治行政学科	1	2
地域国際協力特論	法学部・自治行政学科	1	2
行政法Ⅰ	法学部・自治行政学科	2	2
行政法Ⅱ	法学部・自治行政学科	2	2
自治体法Ⅰ	法学部・自治行政学科	2	2
自治体法Ⅱ	法学部・自治行政学科	2	2
行政学Ⅰ	法学部・自治行政学科	2	2
行政学Ⅱ	法学部・自治行政学科	2	2
消費生活行政特論	法学部・自治行政学科	2	2
地方自治論Ⅰ	法学部・自治行政学科	3	2
地方自治論Ⅱ	法学部・自治行政学科	3	2
自治体経営論Ⅰ	法学部・自治行政学科	3	2
自治体経営論Ⅱ	法学部・自治行政学科	3	2
地域政治論Ⅰ	法学部・自治行政学科	3	2
地域政治論Ⅱ	法学部・自治行政学科	3	2
都市政策論Ⅰ	法学部・自治行政学科	3	2
都市政策論Ⅱ	法学部・自治行政学科	3	2
地方財政論Ⅰ	経済学部・経済学科	3	2
地方財政論Ⅱ	経済学部・経済学科	3	2

副専攻名：日本語・日本研究副専攻

意義と特色

国際交流や国際協力においては日本に関する知識を持つことが欠かせない。そのため、この副専攻では日本語、日本文化、日本の政治・経済・社会に関する基礎知識を修得することを目的とする。

国際交流や国際協力に際しては、日本文化に対する理解に加えて、日本の政治・経済・社会に関する教養も不可欠である。この副専攻はこうした理念に基づき、日本問題に関する総合的な科目構成となっている。日本語科目が重視されているのは、日本語に関する知識は外国語の修得はいうまでもなく、あらゆる学問の基礎となるからである。さらに、グローバル化の進行とともに日本語の学習を望む外国人は急増しており、将来、何らかの形で日本語

を教える立場に立つ可能性も高まっている。そうした場合に、日本語に関する基礎的な知識をもって臨んでほしいと考えるためである。

募集対象学部・学科

外国語学部国際文化交流学科を除く全学部・全学科

募集定員

20名

修了要件単位数

22単位以上

設定科目一覧

科目名	科目提供学部・学科等	配当年次	単位数
日本語学Ⅰ *注記1	共通教養科目	1～4	2
日本語学Ⅱ *注記1	共通教養科目	1～4	2
異文化間教育学 *注記1	人間科学部	2	2
文学Ⅰ *注記2	共通教養科目	1～4	2
文学Ⅱ *注記2	共通教養科目	1～4	2
日本史Ⅰ *注記2	共通教養科目	1～4	2
日本史Ⅱ *注記2	共通教養科目	1～4	2
日本政治史Ⅰ	法学部・法律学科	1	2
日本政治史Ⅱ	法学部・法律学科	1	2
日本政治思想史Ⅰ	法学部・法律学科	3	2
日本政治思想史Ⅱ	法学部・法律学科	3	2
日本経済史Ⅰ	経済学部・経済学科	2	2
日本経済史Ⅱ	経済学部・経済学科	2	2
日本文化論Ⅰ	外国語学部・国際文化交流学科	1～4	2
日本文化論Ⅱ	外国語学部・国際文化交流学科	1～4	2
日本文化論Ⅲ	外国語学部・国際文化交流学科	1～4	2
日本文化論Ⅳ	外国語学部・国際文化交流学科	1～4	2
日本文化論Ⅴ	外国語学部・国際文化交流学科	1～4	2
日本民俗学	外国語学部・国際文化交流学科	1～4	2
現代社会心理学 *注記2	人間科学部	2	2
人口地理学 *注記2	人間科学部	2	2
景観地理学 *注記2	人間科学部	2	2

*注記1 「日本語学Ⅰ」「日本語学Ⅱ」「異文化間教育学」のうち2科目4単位を修得しなければならない。

*注記2 「文学Ⅰ」及び「文学Ⅱ」についてはシラバスに記載される授業内容が日本文学が含まれる担当者の科目、「現代社会心理学」、「人口地理学」及び「景観地理学」についてはシラバスに記載される授業内容が日本に関するものが含まれる担当者の科目に、それぞれ限る。副専攻科目として認定される授業担当者の科目の判断に迷う場合は、履修登録前に教務課に確認すること。

マネジメント副専攻、国際教養副専攻、自然・環境副専攻の詳細は教務課で確認してください。